

令和7年度 学校運営協議会（第3回 部会）議事録

校名	大阪府立芦間高等学校
校長名	大辻 民基

開催日時	令和 8 年 2 月 5 日（木） 15:30 ～ 17:00
開催場所	大阪府立芦間高等学校 校長室
出席者(委員)	宮坂政宏、草野功一、高松真由美、奥野和夫（敬称略）
出席者(学校)	大辻民基（校長）、岡本崇志（教頭）、興梠裕一（事務長）、亀井絵里（首席） 木村晋也（総合的な探究主担）、前川佳嗣（産業社会と人間主担）
傍聴者	
協議資料	資料1 令和7年度第3回学校運営協議会 レジюме 資料2 令和7年度学校教育自己診断（生徒用） 資料3 令和7年度学校教育自己診断（保護者） 資料4 令和7年度学校教育自己診断（教職員） 資料5 令和7年度学校経営計画及び学校評価 資料6 令和8年度学校経営計画及び学校評価
備考	

議題等(次第順)
令和8年2月5日 第3回 学校運営協議会 議事録 【構成員】 委員：笹山幸子、千石仮名江、宮坂政宏、草野功一、高松真由美、奥野和夫（敬称略） 事務局：岡本崇志（教頭）、興梠裕一（事務長）、川本祥也（首席）、亀井絵里（首席） 【出席者】 委員：宮坂政宏、草野功一、高松真由美、奥野和夫（敬称略） 事務局：岡本崇志（教頭）、興梠裕一（事務長）、亀井絵里（首席） 校長：大辻民基 【欠席者】 笹山幸子、千石仮名江、川本祥也 【内容】 1. 校長挨拶 2. 報告・連絡事項 （1）本日の「総探」発表会について （2）学校教育自己診断結果と分析について （3）学校経営計画について 3. 協議 4. 審議 ①令和7年度 学校評価案 ②令和8年度 学校経営計画案 5. 連絡 6. 校長挨拶

協議内容・承認事項等（意見の概要）

【内容】

本校教頭による司会で進行

1) 開会・校長挨拶

司会より開会が宣言され、校長より挨拶が行われた。

2) 報告・連絡事項

(1) 本日の「総探」発表会について

主担者の木村教諭・前川教諭より発表会について報告

(2) 学校教育自己診断結果と分析について

校長より解説

(3) 学校経営計画について

校長より令和7年度の評価について、令和8年度の計画について説明

3) 協議

会長・副会長欠席のため、奥野委員が進行役を務めることが了承された。

協議では、

- ・学校教育自己診断結果と分析
- ・学校経営計画案

について、委員から意見が述べられた。

委員の意見

1. 1年生の回答傾向について

- ・今年度1年生の「当てはまる」回答が、例年より全体的に低い点が気になる。
- ・「やや当てはまる」まで含めれば大きな差はないが、満足度の高い層が相対的に少ないことは注視すべき。
- ・設問の捉え方や回答姿勢の違いも考えられるが、来年度以降の推移を見ていく必要がある。

2. 保護者の「わからない」回答の多さ

- ・保護者は学校からの情報が主な判断材料となるため、ホームページや連絡網での情報発信が重要。
- ・家庭内での会話が少ないケースも多く、学校側の発信がより求められる。

3. 進路の多様性を打ち出すべき

- ・芦間高校は「進学型総合学科」であるが、大学進学以外の多様な進路実績も魅力として発信すべき。
- ・看護・美術・専門学校など、幅広い進路の成功例を示すことで、学校の価値がより伝わる。

4. 国際交流と進路の関連づけ

- ・語学研修の復活は大きな強み。
- ・研修参加者がどのような進路に進んだかを追跡し、成果として発信することで学校の魅力が高まる。

5. 広報活動の強化（生徒会・生徒の活用）

- ・SNSやブログなど、生徒会やクラブが主体的に発信する仕組みを作ると良い。
- ・軽音部の全国3位など、強みを積極的に発信することで志願者増につながる。

4) 審議

司会より、以下２件について審議が行われた。

① 令和７年度 学校評価案

- ・出席者より 異議なし とされ、承認された。

② 令和８年度 学校経営計画案

- ・奥野委員より、文書の一部（働き方改革「ウ」項目）の文章が途中で切れているとの指摘。
- ・校長より修正の上で提出する旨の回答。
- ・その他の点については 異議なし とされ、修正を含め承認された。

５）連絡

- ・次年度の学校運営協議会の日程は現在調整中。

６）校長挨拶（閉会）

- ・着任後３か月の所感
 - ・来年度に向けた学校改善への意欲
 - ・委員からの多くの示唆・助言への感謝
- が述べられた。

次回の会議日程

日時	令和８年 月 日（ ）
会場	大阪府立芦間高等学校